

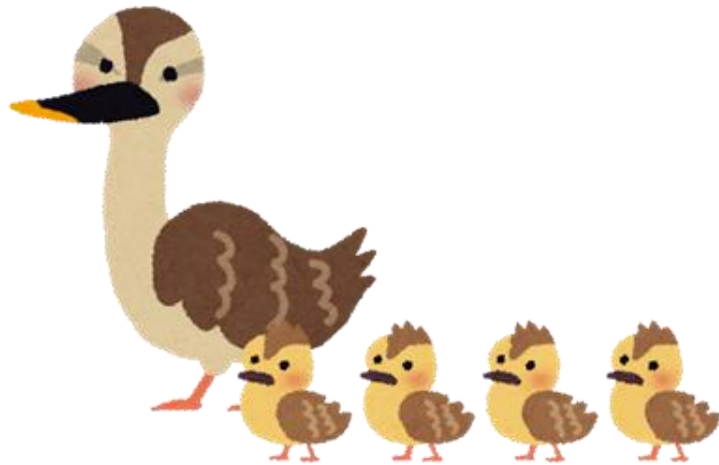
ひとり親家庭等医療費助成制度の御案内

小樽市内に居住しているひとり親家庭等の親と児童の方に、医療費の一部を助成する制度です。

助成の対象になる方

下記 (1) ～ (3) のいずれかに該当する方

- (1)ひとり親家庭の母又は父及び児童
- (2)父又は母以外の方に扶養されている児童
- (3)父又は母が身体障害者手帳 1 級、2 級又はそれに準じるものを交付されており、かつ、労働能力を喪失している家庭の母又は父及び児童



◆児童とは…

- ・ 18歳に到達した年度末（3月31日）まで上記の家庭において扶養又は監護されている方
- ・ 18歳以上20歳未満で、在学中又は無職のため、上記の家庭で扶養されている方

次のいずれかに該当する場合は、助成の対象になりません。

- ・ 健康保険の資格を喪失しているとき
- ・ 生活保護を受給しているとき
- ・ 主として受給者の生計を維持する方の所得額が、下表の「**所得制限額**」以上のとき

扶養親族等の数	所得制限額	収入額の目安 (給与所得の場合)
0 人	2,360,000円	3,725,000円
1 人	2,740,000円	4,200,000円
2 人	3,120,000円	4,675,000円
3 人	3,500,000円	5,150,000円
※扶養親族等 1 人につき 38 万円を加算		

◆所得について

- ・ 所得とは、収入から給与所得控除などを差し引いた額に養育費の 8 割相当額を加えた額です。
- ・ 受給資格の有無を確認する際は、更に所得から一定の控除があります。

申請に必要なもの

- ① 健康保険証（申請される方全員分）
- ② ひとり親家庭等であることを証明する書類
 - 戸籍全部事項証明
 - 児童扶養手当証書
 - 遺族年金証書 など
- ③ 在学証明書もしくは学生証の写し（※18歳以上で、大学等に在学している場合に必要です）

※他市町村から転入された場合

所得判定のために、前住所地の市区町村に「課税状況、扶養人数等」を確認させていただきます。

受給者証について

●受給者証の交付

- ・「ひとり親家庭等医療費受給者証」は、申請書を審査後、要件を満たす方に交付（郵送）します。（申請からお届けまで、約 2 週間かかります）

●受給者証の更新

- ・毎年 8 月 1 日付けで、受給者証を更新します。
- ・前年の所得等に基づき、引き続き、受給資格がある方に新しい受給者証を交付します（7 月下旬に郵送）。
※原則、手続等は不要ですが、更新の際に、必要な書類を提出いただく場合があります。

医療費助成制度における自己負担額

医療機関等を受診した際の窓口負担金については、年齢や世帯の状況、市民税の課税状況等により、負担額が異なります。

【 児 童 】

診療区分		市民税 非課税世帯・課税世帯 共通	
入院・通院	医 科	初診時一部負担金のみ	580円
	歯 科		510円
柔道整復			270円
調 剤		自己負担なし	
訪問看護		医療費の 1 割	

【 親 】

診療区分		市民税 非課税世帯		市民税 課税世帯
入 院	医 科	初診時 一部負担金 のみ	580円	医療費の 1 割
	歯 科		510円	
通 院	医科・歯科	医療費の 1 割 (限度額はありせん)		市民税 課税世帯の 「親」の方は 通院等の助成はありません
柔道整復				
調 剤				
訪問看護		市民税 非課税世帯・課税世帯 いずれも 医療費の 1 割		

自己負担上限額		市民税 非課税世帯	市民税 課税世帯
1 か月		訪問看護：8,000円（個人）	訪問看護：18,000円（個人） 入 院：57,600円（世帯）
8月1日から翌年7月31日までの 1 年間			144,000円

【注意事項】 助成対象は、健康保険適用となる医療費のみです。
入院時の食事代、自費負担分（病衣代、文書料など）は、助成対象外です。

受給者証を使用できる保険医療機関等

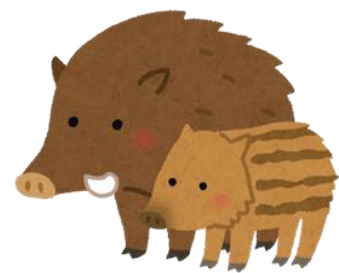
- ・ 保険医療機関等を受診する際は、「健康保険証」と「ひとり親家庭等医療費受給者証」を窓口に提示してください。
- ・ 北海道内の保険医療機関で使用できます。
- ・ 受給者証を使用できない保険医療機関等で診療等を受け、医療費の支払をしたときは、後日、払戻しを受けることができます（詳しくは、次ページの「償還払い（払戻し）の申請について」を御覧ください）。

他の医療助成制度の受給資格をお持ちの方へ

医療費の負担が軽減される場合がありますので、次の各担当窓口へお問合せください。

- ①「更生医療」 ➡ 福祉総合相談室 障害福祉グループ（市役所本館 1 階 1 番窓口） 内線 3 0 2
- ②「長期特定疾病（健康保険、後期高齢者医療）」 ➡ 現在加入している健康保険の窓口
- ③「特定疾患（難病など）」、「身体障害児育成医療」、「未熟児養育医療」
➡ 小樽市保健所 保健総務課 保健管理グループ 電話 0 1 3 4 - 2 2 - 3 1 1 5

償還払い（払戻し）申請について



次のア～エに該当する場合は、医療助成費の払戻しを受けることができます。

払 戻 し 理 由		申 請 に 必 要 な も の
ア	受給者証を使用することができない 保険医療機関等で受診した	① ひとり親家庭等医療費受給者証 ② 健康保険証 ③ 領収書 ④ 受取口座の情報がわかるもの（通帳、キャッシュカード等） ⑤ 印鑑（シャチハタ以外）
イ	受給者証を提示せずに受診した	⑥ 健康保険の保険者が発行した「支給決定通知書」 （健康保険の高額療養費に該当する場合のみ）
ウ	健康保険証を提示せずに受診した （１０割負担したとき）	上記①～⑤に加え、 ・健康保険の保険者が発行した「支給決定通知書」 ※先に、加入している健康保険で「療養費」の支給申請を行う必要があります。
エ	療養費等（補装具など）の 支払をしたとき	上記①～⑤に加え、 ・医師が発行した「証明書」 ・健康保険の保険者が発行した「支給決定通知書」 ※先に、加入している健康保険で「療養費」の支給申請を行う必要があります。

注意事項

- 原則、受診した月に償還払い（払戻し）申請の受付はできません。
- 領収書には、次の事項の記載が必要です。
「氏名」、「診療年月日」、「保険点数」、「初診の有無」
- 必要事項が記載されていないレシート等については、受付できません。
- 診療日の翌月１日から起算して**２年**を過ぎると、償還払い（払戻し）の申請ができなくなります。

支給について

- ・審査等の関係により、支給するまでに１～２か月かかります。
- ・「支給通知書」は送付いたしませんので、入金については、通帳等で確認願います。

1か月の医療費が限度額を超えたとき

１か月間に支払った一部負担金（医療費の１割相当額）が上限額（左ページを参照）を超えた場合は、超えた額が「**高額医療費**」として払戻します。

- ・対象者には「支給通知書」を郵送いたします。
- ・初回のみ、申請手続が必要ですが、その後は受取先として登録した口座に「高額医療費」を支給します。
- ・払戻し時期は、概ね、診療月の３～４か月後になります。

交通事故や学校等でけがをしたとき

- 次のような第三者行為による診療には、**「医療費受給者証」**を使用することができません。
 - ・ 第三者からの被害を受けたとき（交通事故等）
 - ・ 学校等の管理下における、災害（けが、疾病等）が発生したとき
- 保険医療機関を受診する際は、事故等の（第三者行為）によるケガであることを伝えてください。

受給者証を使用して診療等を受けたときは、その医療費を返還していただくことがありますので、御注意ください。

各種届出について

次のようなときは、届出が必要です。
また、各種届出をされたときは、受診中の保険医療機関等にも必ず御連絡願います。



受給状況が変更になったとき

- ① 加入している健康保険（種類、記号、番号、被保険者等）に変更があったとき
- ② 世帯の状況が変更になったとき
- ③ 所得の修正申告等を行ったとき
- ④ その他、受給資格に変更があったとき

受給状況が喪失となる時

- 次に該当するときは、受給資格を喪失します。こども福祉課で「医療費受給者証」を返還してください。
- ① 母子家庭の母又は父子家庭の父が婚姻したとき
（婚姻届を出していなくても、同居などにより生計を共にした場合も資格喪失となります）
- ② 加入している健康保険の資格を失ったとき
- ③ 小樽市から他市町村に転出するとき
- ④ 生活保護を受給することになったとき

医療費助成の受給資格を喪失した後に、受給者証を使用して診療等を受けたときは、その医療費に対する助成額を返還していただくことがありますので、御注意ください。

ひとり親家庭等医療助成制度についての問合せ先

こども未来部 こども福祉課 こども福祉グループ（市役所本庁舎 別館5階）
〒047-8660
小樽市花園2丁目12番1号
電話 0134-32-4111 内線 311
FAX 0134-31-7031